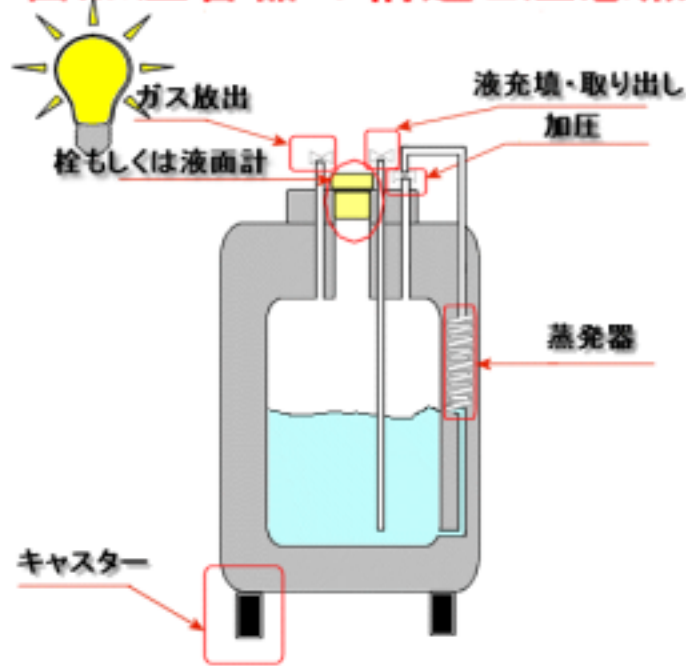


自加圧容器の構造と注意点



構造

バルブ類

ガス放出	ガスを放出する為の弁、またガス取りをする場合に使用
液充填・取り出し	液の充填・取り出しに使用
加圧	液を取り出す時に容器内部を加圧する為のバルブ

蒸発器

蒸発器で液体窒素を気化させ、気化させたガスを容器内に入れる事により容器内を加圧し、液を取り出す。

キャスター

容器は重いので、何かの際にぶつかった場合に実験装置を破壊しかねません。キャスターを固定させる等気をつける事。また、鉄の容器の場合は超伝導磁石等の磁場のかかる装置を使うところは引き寄せられるので特に注意する事。

注意点

一般的に、自加圧容器を使用される場合は、開放型容器と比較すると使用上多少の注意を払う必要があります。以下の事に気をつけて使用してください。

- ・ 安全弁はあるが、容器内部が密閉される構造になっている為、液が内部に残っていてかつ加圧する必要がない場合にはガス放出弁をあけるなどして必ず圧がかからないような状態にしておくこと。
- ・ 容器容量の約 1%/day 程度自然蒸発するので、その点も注意する事。
- ・ 中に圧力がかかっている時は、圧力を抜いてから十分注意して栓や液面計を外す事。
- ・ 容器に液体窒素を充填する時には、液充填・取り出し弁は閉めておく事。

低温液化室